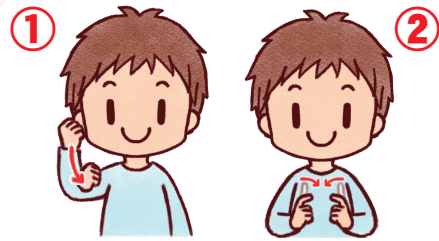
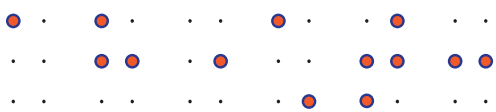


はな 話してみよう! よ 読んでみよう!

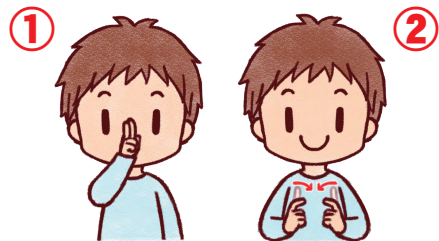
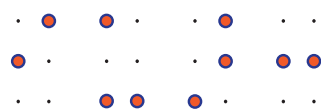
しゅ わ ひょうげん てん じ れい 手話表現と点字の例



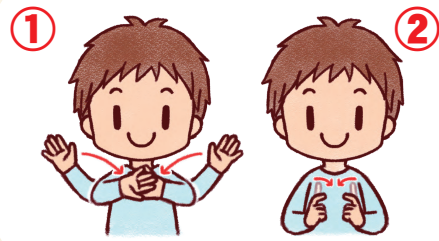
あ り が と ー(う)



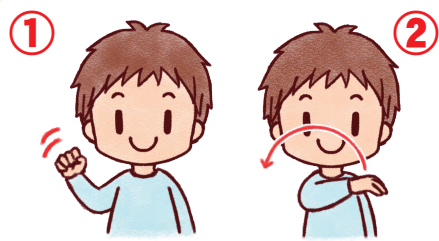
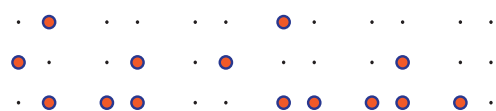
お は よ ー(う)



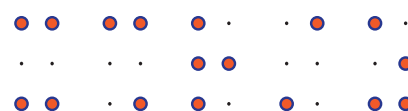
こ ん に ち わ(は)



こ ん ば ん わ(は)



ふ く ち や ま



うんどう じっ し ちゅう あいサポート運動実施中!

ふくちやまし しょうがい り かい ひろ
福知山市では、障害についての理解を広めていく
ために、『あいサポート運動』を実施しています。
この運動は、障害のある人が暮らしやすい社会(共
生社会)にするために、多様な障害の特性、障害の
ある人が困っていること、障害のある人への必要な
配慮などを理解して、障害のある人に対してちょっ
とした手助けや配慮を実践するものです。
みんなの理解とちょっとした手助けで、誰もが安
心して暮らせる社会をつくっていきましょう。

ふくちやまし 福知山市

しゅ わ げん ご およ しょうがい ひと 手話言語 及び 障害のある人の た よう 多様なコミュニケーション促進条例

へい せい ねん がつ
平成 30 年 4 月
スタート

ふくちやまし しょうがい ひと ひと わ へだ り かい
福知山市では、障害のある人もない人も分け隔てられることなく、理解し
あ すべ し ぶん たが じんかく こ せい そんちよう あ とも
合い、全ての市民が、お互いに人格と個性を尊重し合うことのできる「共に
しあわ い しゃ かい じつげん とりくみ しゅ わ げん ご
幸せを生きる」社会を実現するための取組のひとつとして、手話を言語と
みと しょうがい ひと た よう しゅ だん り よう そくしん
して認め、障害のある人の多様なコミュニケーション手段の利用を促進する
じょうれい せいてい
条例を制定しました。

き ほん り ねん 基本理念

1 しゅ わ しゃ たいせつ う つ げん ご り かい
手話は、ろう者(※1)が大切に受け継いだ言語であるということを理解し、
しゅ わ げん ご ひろ
手話が言語であることを広めます!

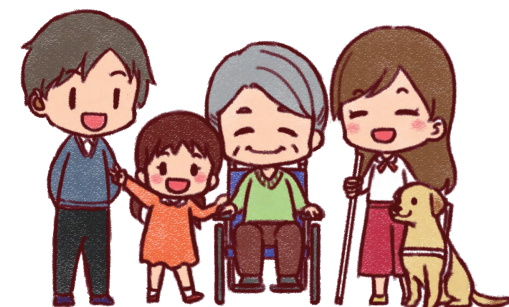
しゅ わ て ゆび うご ひょうじょう つか あらわ どく じ げん ご しゃ たいせつ はくく げん ご
手話は、手指の動きや表情を使って表す独自の言語で、ろう者が大切に育んできた言語です。
かつて、ろう者は、手話を使うことが禁じられ、誤解や偏見を受けていたときがありました。
しゅ わ げん ご り かい ひろ き ひと おんせい げん ご どうよう しゅ わ
手話は言語であることの理解を広め、聞こえる人たちの音声言語と同様に、いつでも手話を
つか
使ってコミュニケーションをとることができる環境にしていくことが大切です。

2 しょうがい とく せい ほうほう
障害の特性にあった方法でコミュニケーションをとることができるよう
とりくみ
取組をすすめます!

コミュニケーション手段には、手話のほかにも要約筆記(※2)、点字、音声、ひらがな表記など
た よう しゅ だん り かい かんきょうせい び じゅうぶん すす い
多様な手段があります。しかし、その理解や環境整備は十分に進んでいるとは言えません。
しょうがい とく せい しょうがい ひと おう しゅ だん えら かんきょう
障害の特性や障害のある人のニーズに応じたコミュニケーション手段を選ぶ環境にしていく
たいせつ
ことが大切です。

※1 ろう者とは、耳が聞こえない人で、手話でコミュニケーションをとる人のことです。

※2 要約筆記とは、話の内容をまとめて、文字で伝える方法のことです。



ふくちやまし
福知山市

といあわ お問合せ

ふくちやまし ふくし ほけん ぶしょうがいしゃふくし か
福知山市福祉保健部障害者福祉課 〒620-8501 京都府福知山市宇内記 13 番地の 1
でんわ
電話: 0773-24-7017 FAX: 0773-22-9073 メール: shogaishafukushi@city.fukuchiyama.lg.jp